

# 【ねがいましては】

第82号

平成8年2月26日

共和珠算学習塾

「座ぶとん」

おてんとうさまの  
ひかりを いっぱい 吸った  
あったかい 座ぶとん  
のような人

相田 みつを 「にんげんだもの」 文化出版局

こここのころの寒さにもう飽きて、そろそろ暖かい日差しが待ち遠しくなりました。入試もうあと一息です。受験生たちは「今」を大切にしながら頑張っていることと思います。いつもいつも理想と現実とに挟まれながら生活している子どもたち、そして大人たち。

この詩は目を通すたびに「ひと」としての根っこを改めて教えてくれます。子どもたちにとっての安らぎの場所は何といっても「家庭」です。これが別の場所になってしまうと、それは少々問題がありそうです。子どもにとっての座ぶとんは「おかあさん」です。「おかあさん」が座ぶとんであるかぎり、子のころはいつもふんわかしています。どんなに学校でつらいことがあっても、きっと子は座ぶとんを思いおこして「がんばろう」と思えます。そして、やがて成長し、今までの座ぶとんに似た女性と出会い、新しい座ぶとんの上で生活するんじゃないかと思います。

女の子にしてみても「おとうさん」がもうひとつの座ぶとんなのかもしれない。やがて成長し、座ぶとんのような人に出会い嫁いでゆくのかもしれません。

家庭の中で座ぶとんに乗っかれない、学校でも座ぶとんがないのでは、やはり心の成長期でもある子どもたちは、うまく歩いて行けません。

私は日頃、授業の中でよく冗談をいいます。よく、からかって叱られたり「バカ!」「ウルサイ!」などと言われます。それもこれも、授業の中が明るかったらと思うのです。それでも皆が集中できていたらと考えています。とても難しいことだとは思いますが、相手が勉強の場合は真剣は当たり前なのですが、「ひと」と「ひと」との間には、おてんとうさまの光を浴びせつこできるような、そんな教室でありたいと思います。

まだまだ座ぶとんには程遠い私ですが、毎日座ぶとんのような生徒たちに会えることは実にしあわせなことです。

\*各進学塾等のチラシが目立つようになりました。当教室でも若干名ですが募集いたします。当教室では、なるべく生徒主体のスタイルをとっています。自分が向かわなければならぬところを自分で見つけながら理解していく方式です。私の仕事は皆の質問に答えたり、どの分野から始めるか迷っている子にアドバイスしたりなどです。成績の伸び方はまちまちですが、自分に根っこのある子は伸びています。しかし「逃げ」を使いがちな子はあまり伸びません。そのようなお子さんは大手進学塾など命令型の場所がいいと思います。ついていければ成績効果はそちらの方がよろしいと思います。本当にわからなくて、悔しくて、真剣に悩んでいる子にとっては、ここは居心地がよさそうです。

勉強は自分のペースで向かってみると、きつくも苦しくありません。けっこう楽しいものだ気づきます。算数・数学はとくにです。「こつこつ」を大切にしてお向かってください。